

危険物 仮貯蔵 承認申請書
仮取扱い

(宛先) 消防署長		年 月 日	
		申請者 ②	
		住所 (電話)	
		氏名	
危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	③ 電話 ()	
	氏名		
仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地名称	④	
危険物の類、品名及び最大数量	⑤	指定数量	倍
		の倍数	
仮貯蔵・仮取扱いの方法	⑥		
仮貯蔵・仮取扱いの期間	⑦ 年 月 日から 年 月 日まで 日間		
管理の状況 (消火設備の設置状況を含む)	⑧		
現場管理責任者	住所	⑨ 緊急連絡先 ()	
	氏名	【危険物取扱者免状：有（種類： ）・無】	
仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理	⑩		
その他必要事項	⑪		
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄	
	承認年月日 承認番号		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 3 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
 4 ※印の欄は、記入しないこと。

【危険物（仮貯蔵・仮取扱）申請書記載要領】

根拠条文：省令第1条の6

- ①申請書名称の仮貯蔵・仮取扱は、該当しない方を二重取消線で抹消する。
- ②「申請者」の欄は、仮貯蔵等の行為を行う者又は当該仮貯蔵等に対して管理責任がある者（法人の場合は、その所在地及び代表者）の住所及び氏名を記入する。なお、請負工事に伴い、仮貯蔵等が必要な場合について、発注者又は請負業者のいずれが申請者になるかは、仮貯蔵等の行為に対して管理責任を負う者を申請者とする。
- ③「危険物の所有者、管理者又は占有者」の欄は、仮貯蔵等を行う危険物の所有者、管理者又は占有者について記入する。
- ④「仮貯蔵・仮取扱いの場所」の欄は、仮貯蔵等を行う場所の所在地及び名称を記入する。
- ⑤「危険物の類、品名、数量」の欄は、仮貯蔵等を行う危険物の類、品名、最大数量及び指定数量の倍数を記入する。品名が多いときは、その品名を別紙として添付する。
（例）第4類 第2石油類 1, 500L
- ⑥「仮貯蔵・仮取扱の方法」の欄は、仮貯蔵等の具体的な方法を簡潔に記入する。図面等によるときは「別紙のとおり」と記入し、別紙に詳細を記入し、添付する。
- ⑦「仮貯蔵・仮取扱の期間」の欄は、何月日を記入するが、その期間は10日以内である。
- ⑧「管理の状況」の欄は、設置する消火設備や巡視状況を記入する。
- ⑨「現場管理責任者」の欄は、現場管理責任者の住所、氏名及び緊急連絡先を記入する。なお、当該現場の管理責任者が危険物取扱者免状を有している場合は、免状の種類等、交付番号を記入する。
- ⑩「仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理」の欄は、理由と期間経過後の処理を簡記する。
- ⑪「その他必要事項」の欄は、必要に応じて記入する。